

# 令和8年度 目標設定書（福祉課）

福祉課長 田邊和宏

<b>1 当課の主な業務は次のように定義されます。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に関すること</li> <li>・障害福祉に関すること</li> </ul>		
<b>2 当課の業務は次の方々のために行われます。</b>		
<p>地域福祉の業務は、毛呂山町に住んでいるすべての皆さんのために。障害福祉の業務は、毛呂山町に住んでいる障害のある皆さんや施設に入所している障害のある皆さんのために。</p>		
<b>3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。</b>		
目標名	地域福祉の推進	
指標名	民生委員・児童委員の定員充足率【年度末時点】	
数値目標	初期値（令和5年度）	94.9%
	現状値（令和7年度）	86.0%
	目標値（令和8年度）	100%
	最終目標値（令和11年度）	100%
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	地域福祉の要である民生委員・児童委員が全ての地区で活動し、「地域の身近な相談相手」として活躍できる町を目指します。	
<b>4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。</b>		
<p>「地域住民の身近な相談相手」として民生委員・児童委員がいることにより、住民目線で地域を見守り、問題の早期発見・早期把握が図られ、行政・専門機関への「つなぎ役」の体制づくりにより、早期介入・早期解決が期待できます。</p>		
<b>5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。</b>		
<p>昨年度は3年に一度の一斉改選があり、全国的な傾向ですが、年齢（定年）や体調等の理由による退任者数が新規委嘱者数を上回り、欠員地区が増えてしまいました。</p>		
<b>6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。</b>		
<p>民生委員・児童委員の存在やその活動をより多くの方に知っていただけるよう、周知活動を強化します。また、欠員地区に対する候補者推薦の働きかけを行うとともに、現任委員の負担軽減を図ります。</p>		

# 令和8年度 目標設定書（福祉課）

福祉課長 田邊和宏

<b>1 当課の主な業務は次のように定義されます。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に関すること</li> <li>・障害福祉に関すること</li> </ul>		
<b>2 当課の業務は次の方々のために行われます。</b>		
<p>地域福祉の業務は、毛呂山町に住んでいるすべての皆さんのために。障害福祉の業務は、毛呂山町に住んでいる障害のある皆さんや施設に入所している障害のある皆さんのために。</p>		
<b>3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。</b>		
目標名	障害児支援体制の充実	
指標名	計画相談支援事業者による障害児のサービス等利用計画作成率【年度末時点】	
数値目標	初期値（令和5年度）	67.0%
	現状値（令和7年度）	79.5%
	目標値（令和8年度）	81.0%
	最終目標値（令和11年度）	85.0%
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	障害児福祉サービスを利用する際にサービス等利用計画を相談支援専門員が作成し、一定期間後にサービスの利用状況の検証を行い、計画の見直しを行います。	
<b>4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。</b>		
<p>計画相談支援事業者によるサービス等利用計画の作成やモニタリングを通して、きめ細やかな支援をすることができ、適切なサービス利用に繋がります。</p>		
<b>5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。</b>		
<p>自立支援協議会において相談支援専門部会を立ち上げ、事業所の報酬を上げるための取り組みとして、協働型機能強化型加算（困難ケースへの積極的な対応や質の高いマネジメントを行うことで取得できる加算）の取得に向けて協議し、令和8年4月1日から加算の取得ができました。これにより、障害児を受けられる事業所の相談支援専門員が常勤専従となり、より多くの方を担当してもらえるようになりました。</p>		
<b>6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。</b>		
<p>相談支援事業所の一覧表を作成するとともに、受け持つ件数を見える化して、バランスよく受け持つことができるようにします。また、相談支援専門員へ依頼する方法を検討し、行政がアセスメントした情報を相談支援事業所へ説明することで安心感を生み、受け持ちやすくする取り組みを行います。</p>		